

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月25日

計画の名称	湯河原町における循環のみちの実現											
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	湯河原町											
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,832	A	2,832	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R02末
1	下水道処理人口普及率を96.8%(H28)から97.6%(R02)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)	97%	97%	98%
2	処理場において長寿命化計画に基づいた長寿命化・更新工事実施率を58.6%(H28)から100%(R02)に増加させる。 処理場において長寿命化計画に基づいた長寿命化・更新工事実施率 長寿命化・更新工事実施済みの資産数(箇所)/長寿命化計画策定時に長寿命化・更新工事が必要な資産数(箇所)	59%	100%	100%
3	処理場における長寿命化計画策定率を57.1%(H28)から71.4%(R02)に増加させる。 処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの設備数(箇所)/長寿命化計画を策定すべき設備数(箇所)	57%	57%	71%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	管渠(污水)	新設	湯河原処理区	汚水管の整備 L=2.2km	湯河原町						235	-	
		長寿命化支援制度																	
	A07-002	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	終末処理場	改築	湯河原町浄水センター	汚泥焼却炉(15t/日)	湯河原町						910	策定済	
		長寿命化支援制度																	
	A07-003	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	終末処理場	改築	湯河原町浄水センター	汚泥脱水設備、受変電設備等	湯河原町						1,651	策定済	
		長寿命化支援制度																	
	A07-004	下水道	一般	湯河原町	直接	湯河原町下水道課	終末処理場	改築	湯河原町浄水センター	ストックマネジメント計画策定	湯河原町						36	-	
		ストックマネジメント支援制度																	
											小計						2,832		
											合計						2,832		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
湯河原町において、湯河原町事務事業評価実施要綱の規定に基づき実施	令和4年3月
	公表の方法
	湯河原町ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道整備人口は目標を達成することが出来なかったが、未普及地区の整備を行うことで公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全に寄与した。 また、長寿命化計画に基づいた改築更新事業の結果、新技術の採用などにより省エネルギー化が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	浄水センターの汚泥焼却施設、汚泥脱水設備、受変電設備の改築更新をしたことにより、施設機能を維持することができた。
特記事項（今後の方針等）	
管渠については、未普及地区の整備を順次進めていく必要があるが、ストックマネジメント計画に基づき浄水センターの改築更新事業を行うため、当面は財政状況を確認しながら事業を進める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道処理人口普及率		
	最終目標値	98%	人口減少などに伴い、下水道処理人口普及率の精査を行った結果、実績値が減少したため、目標値を達成することができなかった。また本計画期間内に実施予定であった箇所において、関係機関との調整が必要となり、期間内での実施を一部断念することとなったため。
	最終実績値	92%	
長寿命化・更新工事実施率			
2	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
	長寿命化計画策定率		
3	最終目標値	71%	計画通りに事業を進めることで、策定率の目標を達成することができた。
	最終実績値	71%	

(参考様式3) 参考図面 社会資本整備総合交付金

